



お知らせ版

友好都市提携 30 周年

舞鶴市・大連市 さらなる発展を誓う

舞鶴市と大連市（中国）の友好都市提携 30 周年を記念し、「2012 舞鶴市民日中友好の翼」舞鶴市代表团や市民訪問団など合計 62 人が、7 月 21 日～ 25 日に大連市を訪問しました。

舞鶴市代表团（团长＝多々見良三・舞鶴市長）は、21 日に^{かいちゆうみん}舞鶴市長・大連市人民代表大会常務委員会主任（市議会議長にあたる役職）や^{そうあいか}曹愛華・大連市副市長らを表敬訪問。

同日の夜に開催された記念式典では、「港湾を活かした人と物の交流の拡大」「地域資源を活かした観光分野や文化活動における市民交流の推進」「医療分野における交流の実現」などを明記

した「両市の友好交流の更なる推進に関する覚書」を交換し、今後の両市の共通の思いを確認しました。

その後、歓迎レセプションでは、舞鶴市から「クレインズ」舞太鼓



▲「クレインズ」舞太鼓による迫力のある演奏

による和太鼓の演奏のほか、大連市からは、二胡（弦楽器）の演奏などが披露され、お互いの国や地域の文化交流を通じて親睦を深めました。

《みなと振興・国際交流課》

京都舞鶴港 ↔ ^{ポハン}浦項港 試験運航

フェリー航路の開設、交流促進へ「宣言」

京都舞鶴港と韓国・浦項港間の国際フェリー航路開設を目指し、7 月 30 日～ 8 月 1 日にクルーズ客船「ばしふいっくびいなす」を利用した試験運航を実施しました。

昨年 11 月、京都舞鶴港が日本海側拠点港に指定されたことを受け、府と市が連携して実施したもので、府内の行政・経済関係者やモニターツアー客ら約 400 人と浦項市側から約 200 人が参加。

31 日、浦項市で山田啓二・京都

府知事と多々見良三・舞鶴市長、^{ハフ}朴承浩・浦項市長が、国際フェリー航路を早期に開設・就航させることによって、両地域間の経済交流と発展に寄与するための「共同宣言」を表明。

また、1 日に帰港した舞鶴市で、同船に乗船して来日した朴・浦項市長らと参加した府北部 7 市町の首長らが出席し「日韓地域間交流会議」を開催。国際フェリー航路の実現と地域間交流の発展に向けて協力する



▲浦項市内で共同宣言を読み上げる多々見市長と山田知事、朴市長（左から）

ことを誓う「日韓地域間交流推進のための宣言」を表明しました。

これを契機に今後、経済交流のみならず、文化や芸術、スポーツなどさまざまな活動を積極的に行う相互交流を促進していきます。

《みなと振興・国際交流課》



▲底引き網漁の初競りの様子



▲焼きちくわの実演

参加者募集

遊覧船で行く「親子で社会見学」

～府漁連のセリ見学と焼きちくわの実演～

- 時・場 9月2日（日）8時30分～12時、東体育館前集合
- 内◇観光ガイドボランティア「けやきの会」の案内のもと遊覧船に乗って海からまちを見学する「舞鶴湾めぐり」◇府漁連でのセリの見学◇かまぼこ協同組合での焼きちくわの実演と試食
- 対 小学生とその保護者 定 40人（多数の場合抽選）料 200円
- 申 8月24日（金）必着で、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号をはがきかファクス、電子メールで広報広聴課へ。
- 問 同課（☎ 66・1041、FAX 62・7951）

